

一般社団法人 日中文化振興事業団

千紫万紅

日中平和友好条約締結 45 周年記念

第四回

# 日中友好コンサート

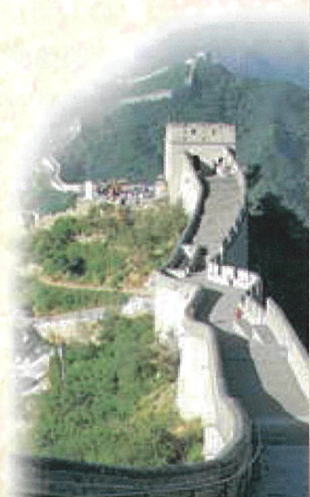
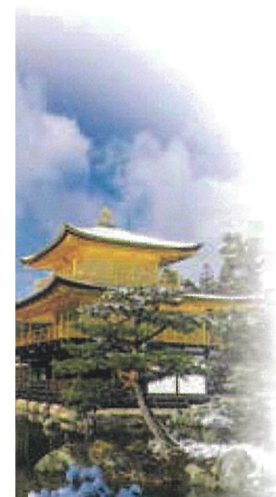
2023年 4月 23日(日)

開場 12:30 開演 13:00

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

主催／一般社団法人 日中文化振興事業団

後援／西宮市



# ごあいさつ

## 民間の力で日中友好を永久に

一般社団法人 日中文化振興事業団 代表理事

胡 金定 (甲南大学教授)



ご来場の皆様、日頃より私ども事業団への格別のご協力、ご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。私どもは「老荘思想」の定期講座を月一回開催して10年が経ちました。現代社会に生きる古典思想を学ぶ中で、老子の「足るを知る」や「無為自然」等の教示は人生を豊かに生きるヒントが豊富であることに感銘を受けました。それは、現代社会の閉塞感をぶち破る力があり人生を「苦」から「楽」へ大きく転換させることができます。また、老子の「柔弱は剛強に勝る」という言葉があります。水は柔弱ですが、時間をかければ、固い岩を穿つことができる「復元力」を潜んでいます。老子はそのしたたかな力を与えてくれます。

人間はさまざまな問題に遭遇しますが、その困難を乗り越え、より良い人生を生きる道を開いて、未来に見出すことができるのが古典思想です。

兵庫県立芸術文化センターは、阪神・淡路大震災からの「心の復興・文化の復興」のシンボルとして、2005年10月に開館されました。まさに「復元」の力を実証した施設です。西宮市と紹興市は1985年7月、酒の名産地であることが縁で友好都市提携を結びました。以来、両市の友好交流と相互理解は深まり、友好関係を促進してきました。そして、教育、経済・貿易等、市民交流などの分野で相互協力の成果をあげました。

今年は「日中平和友好条約」締結45周年という節目の年です。改めて「平和友好条約の精神」を噛みしめ、日本と中国がお互いを尊重し、協力しあう関係を一層構築していきたいと願っております。当事業団は民間団体として、より多様で多彩な交流を積極的に推進し、両国民の相互理解と友好的感情を増進するために引き続き貢献して参ります。

日本と中国の平和友好推進こそ世界平和を可能にする最も大事な要件です。そのために両国が虚心坦懐に相互理解を深め合い信頼関係築くことが求められます。

すべての人を愛するならば、争乱はなくなり、人は平和な生活を享受することができる「天下の大利」であることに異論のある人はいないでありましょう。

当事業団は日中文化の啓蒙と普及、定期学習講座、研修会やコンサート等、更には地方自治体とも連携し、皆さまに愛され、日中友好の原動力となる団体をめざして、文化・芸術活動を通じて、ご来場の皆様と共に、少しでも未来社会を明るく、そして希望を見出す為の活動を、共有して、人々の交流と創造の輪を広げて参りたいと願っております。

結びに、今後とも更なるご支援ご協力を賜ります様、重ねてお願い申し上げます。

## お祝のこたば



参議院議員

伊藤 孝江

日中友好条約締結 45 周年を記念する「第四回日中友好コンサート」の開催を心よりお慶び申し上げます。

日中両国は 1972 年に国交を正常化し、78 年には平和条約を締結、今日まで広範な分野において友好で互恵的な関係を発展させてきました。その中であって貴事業団は、本コンサートをはじめ、講演会や交流会といった文化芸術事業の開催などを通じ、両国の文化を尊重し合う活動を続けてこられました。なかんずく人類と自然の共存を説く、SDGs の先駆けともいえる「老荘思想」の定期学習講座の開催は、現在、世界が直面する地球温暖化対策にもつながる、時宜を得た取り組みといえましょう。

さて本日の会場である兵庫県立芸術文化センターは、阪神・淡路大震災からの心の復興のシンボルとして 2005 年に誕生したものです。ご存じのように、震災後、被災した方々を力づけようと、多くの音楽家の皆さんがボランティア活動をされました。

その中に、私の知人が企画した、ウィーンから友人の演奏家を招いての、被災者応援コンサートがありました。小規模なコンサートでしたが、居合わせた人たちに大きな希望と勇気を与えたことは言うまでもありません。私はこのことを通し、音楽はたとえ文化や年代が異なっても皆の心をついでできる世界共通言語であることを実感しました。

このコンサートには続編があります。16 年後、東日本大震災が発生しました。ご記憶にある方もいらっしゃるかと思いますが、地震に伴う原発事故の影響を懸念し、この年、日本で公演を予定していた音楽家たちが次々と来日を中止しました。

実はこの時も私の知人はコンサートを企画しましたが、ウィーンの友人たちの協力を得ることができませんでした。そんな中、ドイツ在住の世界的演奏家が「そういう状況下だからこそ、私たちが行かなければ」と名乗りを上げ、実弟らとともに、東北各地で感動的なコンサートを開催してくれました。震災から 12 年、今も東北の皆さんは彼らの「勇気と友情」を忘れていません。

人の往来と交流は国同士の理解を深める基盤となります。たとえ政治や経済の分野で緊張感が生まれたとしても、貴事業団が変わることなく開催されるコンサートにより、日中両国の信頼が醸成されることは間違いありません。百の言葉より、一つの行動です。本日のコンサートが揺るぎない日中友好の大道につながることを確信いたします。

本日お集まりの皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## お祝のこたば

### 音楽でつながり合い、 中日友好の新楽章を奏でよう

第4回 日中友好コンサートの開催にあたり、中国駐大阪総領事館を代表し、謹んで今回のご開催を熱くお祝い申し上げますとともに、主催者である日中文化振興事業団の皆様のご丁寧なご準備に心から敬意を表し、出席者の皆様の中日友好交流イベントへの積極的なご参加と多大なるご支持に心より感謝いたします。

昨年は、めでたく中日国交正常化50周年で、両国の指導者が再び、新時代の要請に合致する中日関係の構築についての重要な共通認識に達し、両国各界では多彩な記念イベントが開催され、ともに歴史を振り返り、未来を展望することができました。第3回 日中友好コンサートも、記念イベントの一環として、中日友好の力強いメロディを奏で、両国関係の改善や発展へのプラスのエネルギーの注入に役立って下さいました。

今年は『中日平和友好条約』締結45周年で、昨年同様、両国関係において記念すべき年です。条約は法律の形で『中日共同声明』の各原則を確認し、中日世代代にわたる友好の大きな方向性をより明確にし、中日関係における厳粛な法的規範を確立しました。双方は、記念すべき条約締結45周年を機に、条約締結の初心に立ち返り、友好の自信を確固たるものにし、両国関係の正しい軌道に沿った改善・発展を推進していかねばなりません。

新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きや、それぞれのコロナ政策の調整に伴い、中日両国は少しずつコロナ禍より抜け出しつつあり、長く制限されてきた交流・協力のニーズが再開の時を待ちわびており、両国関係は改善・発展の新たなチャンスを迎えています。双方は、条約締結45周年という重要な節目を大いに活用し、経済貿易や文化など各分野における交流・協力の展開を積極的に計画し、ともに新たなブームを巻き起こせるよう努力し、中日両国2000年の伝統的友好に、新たな息吹を注ぎ込むべきです。

歴史を振り返れば、文化交流は中日関係の発展において重要な役割を果たしてきました。双方の経済貿易協力を、両国関係の発展を推進する「バラスト」だとするならば、文化交流は、両国民の相互理解や友好感情を増進させる「潤滑油」です。今、中日関係は多くの課題に直面していますが、その大きな要因は、双方の相互信頼の欠如にあり、さらにコロナの感染拡大によって両国民の交流と意思疎通が阻害されていたことにあります。双方には、交流における文化の特別な役割を十分に活用し、様々な形式の文化交流イベントをいち早く再開し、幅広く展開することで、人的往来を促し、相互理解と友好感情を増進させ、両国関係の改善や発展に有利な世論・民意環境を作り出してほしいです。

音楽は全人類共通の言語です。中国の儒教の経典『礼記』には、「凡ソ音ノ起コリハ、人心ヨリ生ズ」とあります。これは、すべての音楽の始まりは、人の心から生まれたものという意味で、それは国、民族や言語の境界を超えて、異なる文化同士の交流や相互理解を促進することができます。本日のコンサートでは、京劇や二胡など中国の国粋だけでなく、演歌や古琴など日本の伝統芸能も披露されます。本日のコンサートは音楽の饗宴であり、それ以上に交流の祭典となることでしょう。中日双方が音楽を通じて触れ合い、音楽を通じて絆を深め、ともに中日友好の真新しい楽章を奏でていくことを期待しています。

最後に、改めて第4回 日中友好コンサートのご成功をお祈りします！

### 以乐会友， 共谱中日友好新篇章

中国駐大阪総領事館

薛 劍



值此第四次日中友好音乐会举办之际，我谨代表中国驻大阪总领事馆，对本次音乐会的成功举办表示热烈祝贺，向主办方日中文化振兴事业团的精心筹备表示由衷敬意，向各位出席人员对中日友好交流活动的积极参与和大力支持致以诚挚谢意。

去年适逢中日邦交正常化50周年，两国领导人再次就构建契合新时代要求的中日关系达成重要共识，两国各界举办丰富多彩的纪念活动，共同回顾历史、展望未来。第三次日中友好音乐会作为纪念活动的一环，奏响了中日友好的强音，为助力两国关系改善发展注入了正能量。

今年是《中日和平友好条约》缔结45周年，同样是两国关系值得纪念的重要年份。条约以法律形式确认了《中日联合声明》的各项原则，进一步明确了中日世代友好的大方向，为中日关系确立了严肃的法律规范。双方要以纪念缔约45周年为契机，重温缔约初心，坚定友好信心，推动两国关系沿着正确轨道改善发展。

伴随新冠疫情形势趋缓和各方防控政策调整，中日正逐渐走出疫情，积蓄已久的交流合作需求蓄势待发，两国关系面临改善发展的新机遇。双方要用好缔约45周年重要节点，积极筹划开展经贸、文化等各领域交流合作，共同努力掀起新一轮热潮，让中日两千年传统友好焕发出新的生机。

回顾历史，文化交流在促进中日关系发展过程中发挥了重要作用。如果说双方经贸合作是推动两国关系发展的压舱石，那么文化交流则是增进两国民众间相互理解和友好感情的润滑剂。当下中日关系面临不少挑战，其中很大部分症结在于双方互信不足，疫情又造成两国民众交流沟通受阻。希望双方充分发挥文化在交往中的特殊作用，通过迅速重启和广泛开展形式多样的文化交流活动，不断推进人员往来、增进相互理解和友好感情，为两国关系改善发展营造有利社会舆论和民意环境。

音乐是全人类共通的语言。中国儒家经典《礼记》中说，“凡音之起，由人心生也”，意思是所有音乐的起始，是从人们的心中产生的，它能超越国家、语言的界限，促进不同文化的交流交融。今天音乐会的节目中不仅有京剧、二胡等中国国粹，还有演歌、古琴等日本传统曲艺表演。我相信，今天的音乐会既是一场音乐盛宴，更是一场交流盛会。期待中日双方以乐会友、以乐固友，共同谱写中日友好的崭新篇章。

最后，祝愿第四次日中友好音乐会取得圆满成功！

## お祝のこば

甲南学園理事長

長坂 悦敬



「第四回日中友好コンサート」の開催、おめでとうございます。

胡金定教授が代表理事を務められている一般社団法人日中文化振興事業団では、老荘思想の定期学習講座のほか、古代から現代まで幅広く日本文化と中国文化を紹介しております。講演会、交流会、コンサートなどのイベントを実施し、幅広く有意な人材を糾合、SDGs などを通して、日本と中国の相互理解を深めるとともに、活力ある地域社会づくりに貢献していくことを基本理念とされ、具体的に様々な成果をあげられていることに敬意を表します。

胡金定教授は甲南大学において長きにわたり中国語教育、多文化理解、老荘思想、中国世界遺産について教育、研究に携わるとともに、出身校でもある厦門大学との交換留学協定の締結、実際に交換留学生の行き来を実現され、若い学生を育てることにたいへん熱意をもって取り組んでおられます。また、国際言語文化センター所長、総合研究所所長も歴任され、地域連携活動への貢献も顕著です。

2020年2月頃から世界に大きな影響を与えたコロナ渦、ようやく with コロナ after コロナの生活がみえてきました。海外との行き来もコロナ前に戻りつつあります。グローバル、ダイバーシティのもとインクルーシブな社会を実現していくことは、これからの時代においてますます重要になります。

甲南学園を創設した平生鈺三郎は「共働互助」の教えを残しています。そのために互いに理解し合うこと、互いに尊重しあうことが大切だと思います。

現在、神戸市では約5万人にのぼる外国人の方々が生活されているなか、神戸国際コミュニティセンター（今年4月から当センターの理事長を拝命しております。）では、発展途上国からの研修員の受入れ等の国際協力事業、外国人市民への市政・生活情報の提供・相談事業、外国人市民の日本語学習支援、留学生支援事業、アジア文化の紹介やアジアの言語の講座などの事業を行い、市民の国際交流の促進、多文化共生の推進、留学生支援などにより、地域の国際化を進め、もって国際社会の平和と繁栄に寄与すべく活動しております。

with コロナ after コロナの生活で、いよいよ各地域、各団体、各方面において国際交流がますます盛んになっていくことが期待されます。

日中文化振興事業団におかれましては、継続して様々な活動が進められ、日中友好に多大な貢献をされていること感謝申し上げます。ますますのご発展を心より祈念いたします。

# プログラム

## 第1部 記念式典 13:00～

---

1. 開会の挨拶
2. ご来賓祝辞  
参議院議員 伊藤 たかえ氏  
中国駐大阪総領事 薛 劍氏  
甲南学園理事長 長坂 悦敬氏
3. 祝電披露
4. 講演  
演題：「民間の力で日中友好を永久に」  
講師：胡 金定 教授
5. 書道パフォーマンス  
松尾 泉庭

～休憩～

## 第2部 記念コンサート

---

1. 京劇 秦 爽
2. ギターソロ 木村 モモ
3. 落語 桂 慶治朗
4. 七絃琴・尺八 莊 不周
5. 演歌 生駒 尚子
6. 変臉(へんれん) 劉 祥瑞
7. 二胡 & テノール 朱 新建(二胡)  
包 金鐘(テノール)



## 出演者ご紹介



たけだ やすこ  
**武田 康子** 司会

兵庫県神戸市出身

現在、ラジオ関西「情熱ラジオ」KBS京都「濱田幸一のキラピカ」  
さくらFM「薬の情報BOX」「ノーマライゼーション西宮」担当

その他CM、ナレーション、イベント、コンサート司会など多方面で  
活躍中。打楽器奏者、リトミック講師でもあり、子供向けコンサート  
やリズム遊びなども行っている。

まつお せんてい  
**松尾 泉庭** 書道パフォーマンス

書道家/社)日本医美業セラピスト協会主任/  
暁書法学院理事 Artist  
大阪府出身

9歳から書道をはじめ。左右両手で書と絵を書く。  
2015年 暁書法学院大阪府知事賞受賞、2017年 暁大賞  
受賞、注目作家展「第7回美の視点」2021評論家推薦  
作家大賞受賞、2022年 現代人気美術作家年鑑 年間  
グランプリ/ルーヴル美術館アルチストブリリアン  
ト認定作家。





しん そう  
秦 爽 京劇

日中文化振興事業団 理事/関西大学・文学博士/甲南大学中国語講師/  
秦皇閣芸術文化サロン主宰

秦皇閣では日中落語をはじめ、二胡や三味線、茶道や華道、文楽や京劇などのイベントを企画・実施。店内では日本と中国の工芸品を販売しながらも、中国茶喫茶と中国語、書道、水墨画、詩吟などの講座を同時に開設。日中文化を通して、日中両国の人々の心の通うことができるような架け橋を目指す。子供の頃から、京劇環境の中で育てられ、京劇愛好者として、さまざまな公演に参加。

### 京劇と日本

『霸王別姫』は「四面楚歌」の物語、と言えば梅蘭芳。京劇を代表するこの女形役者は日本でも大変有名な人でした。日本を代表する歌舞伎の女形で後に昆劇『牡丹亭』、京劇『楊貴妃』を演じた坂東玉三郎とも縁があり、彼の祖父・13代守田勘弥が1924年来日公演した梅蘭芳と同じ舞台に立っているのです。坂東玉三郎は子供の頃から父親に京劇と梅蘭芳のすばらしさを聞かされていたと言います。

梅蘭芳は祖父の代からの京劇一家で、幼い頃から舞台に立ち、二十歳の頃はその名が中国中に轟いていたほどの人気者でした。どこで演じようとその劇場は超満員になり、彼の芝居を見た人はそれを生涯の誇りにしたそうです。

梅蘭芳は1919年、1924年、1956年と3度日本を訪れ、1930年にはアメリカ公演、1935年、1952年にはソ連公演を果たし、いずれも成功を収めています。梅蘭芳によるこれらの海外公演をきっかけに中国の京劇は世界に知られるようになったと言えるでしょう。

#### 虞姫歌詞

- 1、大王さま お酒を召し上がりながら
- 2、この虞姫のうたをお聴きください
- 3、愁いをお慰めするため わたくしは舞います
- 4、秦が無道にこの国を荒らし
- 5、各地の英雄たちが立ち上がりました
- 6、昔から申します 確かなことは栄光も没落も一瞬のこと
- 7、どうぞお気を安らかに お寛ぎになってお酒をどうぞ



#### 『霸王別姫』

##### あらすじ

秦末、楚の項羽と漢の劉邦は圧政で苦しめられてきた秦を共に倒したのち覇権をめぐる争う。項羽は該下に追い込まれ、最後を覚悟した項羽の愛妃・虞姫は自刎する。

##### ポイント

項羽に手を取られて詩を聞く虞姫は泣き崩れる。すでに今生の別れを意識した虞姫は、項羽を少しでも楽しませようと剣の舞を披露することにする。

虞姫が剣舞をうたい踊るところは有名なみどころ。虞姫が纏っているのは「魚鱗甲」という衣装で、鎧を装飾化したデザイン。頭には蓮を象つて、それを重ねたような冠をつけている。





きむら

木村 モモ ギター

大阪音楽大学短期大学部専攻科ギター科卒業/  
ブレイメンのおんがく館ギター講師

フィンガーピッキングデイ2冠。  
同世界大会TOP5。  
世界作曲コンテスト2020セミファイナリスト。  
世界中で演奏活動を展開中。

かつら けいじろう

桂 慶治郎 落語

2012年に五代目桂米團治に入門。  
師匠・米團治だけでなく、大師匠であり人間国宝の  
桂米朝の下でも修行を積む。現在は大阪を中心に  
全国各地で落語を公演。第二回三題噺王決定戦準優勝。





そう ぶしゅう  
**荘 不周** 七絃琴・尺八

七絃琴広陵派演奏家/大阪七絃琴館主宰  
 中国大連市出身

七絃琴(古琴)広陵派の名手で、清の道光帝の曾孫にあたる溥雪斎を大師匠にもつ高珉に10年以上師事。中国の古典、宗教曲(儒教、道教、仏教)、また日本の雅楽などの伝統曲や西洋のクラシックなどを取り入れた新しい演奏も研究。

現在、関西を拠点に七絃琴をはじめ、中国の茶文化、料理、薬膳の研究と普及に務めている。

2017年 京都万福寺「田上菊舎展」に出演  
 2018年 第3回東アジア日本研究者協議会国際  
 学術大会に講演、演奏  
 2020年 OPERA Shanghai Misfortuneに出演

2021年 東福寺一華院 「清角」演奏会  
 2023年 地下鉄なんば駅にて「大唐風華」  
 七絃琴演奏会

いこま なおこ  
**生駒 尚子** 演歌

大阪府東大阪市出身

趣味:音楽鑑賞・ファッション

河内音頭の第一人者である生駒一を父に持ち幼少の頃より各地の盆踊りや舞台を経験。今では、数少ない女流河内音頭取りとしてロックやラテンのリズムを取り入れた河内音頭を披露する等、演歌と河内音頭で活躍中。最新曲「天雅の海へ」のカップリング曲「アジサイの花」では作詞も担当。

【ラジオ】

AM558KHzラジオ関西 毎週火曜日21:45~22:00

「生駒尚子のガンバっ天然」レギュラー出演中





りゅう しょうすい  
**劉 祥瑞** 変臉 (へんれん)

2015年 来日、2018年10月に中国で上場している企業「海底撈」の大阪支店に入社して以来、  
ずっとお店の変臉師として店頭で変臉を演じる。



しゅ しんけん  
朱 新建 二胡

愛知学院大学外国人教師/  
茉莉花芸術団代表/アマチュア二胡奏者



ほう じんぞん  
包 金鐘 テノール

中国内モンゴル電力学院歌舞団教師/  
中国内モンゴル大学藝術学院声楽科卒業



## 曲目

①「二泉映月」 二胡名曲 劉天華作曲

二胡演奏 朱新建

心に秘めた恋人への、優しくも込み上げる気持ちを表現した曲。



②「琉球の風」 厦日75企画 朱新建・高建萍作詞 朱新建作曲 松本一策編曲

テノール歌手 包金鐘

琉球の風が、故郷への想いと絆を乗せて、東海を超えて福建省へ。日中交流、日中友好の歌。

③「夕焼の漁舟」 中国古曲 朱新建訳詞 市橋あゆみ編曲

テノール歌手 包金鐘

豊漁の船が、夕陽の中をゆらりと船を漕いで帰宅。のどかで平和な漁師たちの生活を描いた曲。